

海外インターンシップ (Oversea Internship)		1, 2 年・2 単位・選択 システム創成工学専攻・物質創成工学専攻 担当 藤田 直幸	
<div></div>	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 B-1, D-1 物質創成工学専攻は対象外		〔JABEE 基準〕 c, d-2a 物質創成工学専攻は対象外
	〔教育方法等〕 概要： 海外の企業・大学その他の公的機関等において実習ないしは研究体験をすることにより、グローバル技術者としてのキャリア体験を積むとともに、異文化に対する理解を深める。 なお、本科目は、グローバルエンジニア養成教育プログラムの科目と一部として実施する。		
	授業の進め方と授業内容・方法： 海外インターンシップのテーマと内容については、本校国際交流委員会と実習機関が協議して定める。ただし、実習先の機関においてあらかじめ用意されたテーマ及び内容を実務体験することもある。		
	注意点： 修了証書と実習学生が作成する海外インターンシップ報告書の提出、さらに校内で実施する海外インターンシップ報告会での発表をもって履修条件とする。実習中は安全に留意するとともに、保険に加入することを義務付ける。		
関連科目 学習指針 自己学習 実習中の体験を日誌の記録し、報告書作成時の資料とする。実習先の技術者、指導教員、バディ学生との積極的な交流を通して、グローバル感覚とともに技術者として必要な英語コミュニケーション能力を養うこと。			
〔教科書〕 なし 〔補助教材・参考書〕 前年までの「国際交流報告会」でのプレゼンテーション			
〔到達目標〕 技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。さらに自らが職業意識をどのように高めたかを説明できること。社会人としての自主性、創造性および柔軟性の大切さを知ること。さらに、学生として残された学生時代になすべきことを再考する機会とすること。さらに、グローバル技術者としての基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。			
〔評価割合〕 専攻科学外実習証明書、専攻科学外実習報告書、専攻科学外実習日誌および実習報告会に基づき、学生の所属する専攻において先議のうえ、専攻科委員会の議を経て専攻科主任が総合的に判断して行う。 原則として、実習先での専攻科学外実習証明書、専攻科学外実習報告書、および専攻科学外実習日誌（75%）、実習報告会（25%）の4点によって評価する。			

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週			
	2 週			
	3 週			
	4 週			
	5 週	1. 実施期間	10 日間以上にわたり合計 80 時間以上従事	
	6 週	2. 学外実習先	本校が認めた海外企業の生産研究部門等及び大学その他公的教育機関	
	7 週	3. スケジュール	海外インターンシップ・ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> 概要説明 海外受入機関の紹介と実習内容の説明 安全教育 研修テーマのマッチング 	
	8 週			
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			
後期	1 週		事前研修会 <ul style="list-style-type: none"> 海外インターンシップの心構えと異文化理解に関する事前学習 国際交流報告会への出席 	
	2 週		実習 <ul style="list-style-type: none"> 実習先でのオリエンテーション 実習 文化交流 日誌の作成 	
	3 週		学外実習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> 報告書の作成、報告会でのプレゼンテーション 	
	4 週			
	5 週			
	6 週	(参考) これまでの主な実習先		
	7 週	アメリカ：株式会社リガク		
	8 週	ベトナム：日本ユニシス株式会社		
	9 週	シンガポール：ナンヤン ポリテクニク、テマセク ポリテクニク		
	10 週	台湾：国立勤益科技大学		
	11 週	香港：VTC/IVE		
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)